

自治体による人口減少対策の概観

地域社会の持続可能性をめざす 27.10.11. (10.1) 矢島義恭

A 少子化対策（出生数減少のくい止め）

- ・出生率低下による出生数減少の主因は、晩婚化・晩産化(子ども数が少ない)と生涯未婚者の増加
若者が家庭を持ち子育てすることを困難にしている社会環境の改善が必要である
- ・夫婦の子どもの数の減少も原因の一つ 子ども2人の夫婦の割合は55%前後で変わらないが、子ども1人やいない夫婦が増加し、3人以上の子どもの夫婦が減少

1 国の少子化対策による社会環境の整備が急務の課題 日本社会の持続可能性が目標

- A 若者の所得や雇用の安定（非正規雇用や格差社会の是正）
- B 子育て支援制度の整備（共働き支援）
 - a 保育制度の完備
 - b 育休制度の完備、育休後の職場復帰の保証、育児期の柔軟な勤務体制
 - c 経済的支援 児童手当、保育・医療・教育費の軽減や無料化、第2、3子助成
- C 男女共に現在の働き方の是正 長時間労働など
- D 共働きを基本とした社会システム、男女が共に子育てや家事に携わる家庭観

2 自治体のできる対策

- ・多くの自治体が、出生率を2.07に回復することを目標とするが
- ・自治体のできる少子化対策は限定的で、回復には国政による抜本的な改革を必要とする
- A 婚活支援 若者の交流と出会いの機会を豊かに、民間の企画と運営活用
- B 子育てしやすい環境の整備 共働きで安心して子育てができる地域社会
- C 子育てへの経済的な支援、 上記cのうち若干

B 若者の流出をくい止める Uターン Iターンによる若者定住策

- ・地方では、若者の流出が出生数減少とともに人口減少の主因
- ・高卒後の進学が80%前後になり、その多くが大都市圏に進学

1 新卒者の地方へのUターン就職の促進

- ・卒業後は多くが大都市圏に就職 若者の夢の実現、大企業への就職、高い給与水準
- ・地域の暮らしよさ、地域を担う生き方などをアピール

2 一旦大都市に就職した若者のUターン定住の促進 [成果として一番期待できる]

- ・離職者、都会の住みにくさに働き方の変更を考える人に地方の暮らしよさをアピール

3 大都市出身者などの地方移住を促すIターン推進

- ・大都市の住みにくさに悩む若者達に、地方の暮らしよさをアピールする
- 都会の若者への地域で暮らすメリットのアピールや情報提供、丁寧なネット情報が効果的
- 移住希望者への就労支援、住居支援、子育て支援の整備と窓口の一本化
- 「産業の振興・雇用の拡大」は長年取り組まれてきた困難な課題で、即効性のある妙手は見つけ難い

C 高齢者の地方移住 短期的に増加しても長期的な人口減対策としては疑問

1 定年後のふるさとUターン移住を促す

- ・生家に戻る ・中古住宅の取得 ・マンションなどの取得 女性にとっては新しい環境

2 老後の田舎暮らしを望む大都市出身者などの地方移住を促す

- ・老後は医療や介護の必要度が増すことに留意、交通弱者になる可能性もある

3 東京圏の高齢者急増に直面し、介護難民や高齢者の地方移住が期待されている

- ・首都圏本位の構想ではあるが ・地方でも介護職員の確保は困難になっている 以上

諏訪でゆとりのある暮らしをつくる

作成途中

時間的・精神的・経済的・家庭生活 コピーや改変利用は自由27. 10. 1(9. 25) 矢島義恭

(首都圏と比較して)	諏訪で暮らすメリット	諏訪のデメリット	情報や地域の支援
住まいの確保が容易	家賃は安く、住宅取得も容易	冬の厳寒、防寒対策は必須	ネットの不動産情報
アパート	新築・中古ともに空室が多数ある	窓や壁の断熱効果に注意 暖房方法や効果の検討 水道の不凍対策と電気代 除雪対策も不可欠	多くの不動産業者
公営住宅	家賃が低い(2LDK新で6万円前後)		自治体の窓口
中古住宅の賃貸	空き家バンクなどで斡旋がある		自治体の空家バンク
中古住宅の購入	安価の空き家が多数ある		(市町村のHP)
住宅の新築	共働きなら30代で多くが実現可能 地価や建築費が都会より格安		
共働きで子育てが容易	子育て支援の整備に長年の蓄積あり		自治体の子育て支援
	別居でも親や親族は緊急時の頼り		(市町村のHP)
共働き環境	職住接近で通勤時間が少ない 共働きを当然とする地域の気風		自治体の子育て相談 NPOの子育て支援
未満児・幼児保育	公立が大部分で全入(待機なし) 早朝・延長など長時間保育の整備 緊急時の一時保育もある		市町村のHP
小・中・高校生	放課後児童クラブの完備 公立高校が整備 公立中高一貫校がある	私立学校は少ない	
子どもの医療	病児日中保育・緊急・一時支援あり 自治体の医療費助成や無料化		市町村のHP
職場の支援	まだ共働き子育てへの支援に差がある		
仕事の確保と収入の安定	多様な働き方や暮らし方がある		ハローワーク(HP)
勤務先をみつける	求人倍率は高く、各種の仕事がある 特色のある中小企業が多数ある 生活費は都会より少なくてすむ 共働きの収入なら生活は安定する	給与は都会より2割位は低い 都会同様に大企業や正社員・ デスクワークは狭き門	自治体の就労支援 市町村の商工課など ネットの求人情報 求人情報誌
家業(農商工)に就業	よく知る家業を見直し就業する		
商業・サービス業の起業	地域の経済活動は活発 商工会議所の支援相談や制度		商工会議所で推進 (ホームページ)
農業の起業	野菜・花卉・果樹などが盛んな地域 研修や農地確保に地域の支援		J A 信州諏訪のHP
自家用車は必需品		路線バスが少なく、長い間隔 夫婦で通勤などに2台必要	
東京へのアクセスが容易	特急あずさや高速バスが多数走る 片道2~3時間、往復4~9千円		
自治体の相談・支援窓口	若者のUターンや定住の推進・支援		市町村のHP